

日時：平成 28 年度 10 月 6 日（木）

場所：校長室

出席者：三坂委員長、杉野委員、定井委員、高田委員、尾美委員

岡田校長、中村教頭、中村事務長、阿尾、佐藤、中留、田中、越島、木原、角野、山本、竹内

## 次第

### 1. 会長挨拶

### 2. 校長挨拶

### 3. 議事

#### ・今年度の重点目標の進捗状況報告

○教務部 ー 来年度より、全教科でシラバスの様式が変更となりそうなので、各教科に早く連絡する。  
教科書関係の点検作業等は丁寧に行っている。

9 期生（現 1 年、コース制）の教育課程の一部変更や 10 期生（来年度入学生）の教育課程案  
などを構成しているところ。

○生徒指導部ー 9 月末段階の遅刻数 1179 （昨年度 1455）

1・2 年の部活動加入率 56%

身だしなみ重点週間(6/20～4、9/26～30)の実施

ノーチャイムデーの実施 6 月 11 日（土）、11 月 12 日（土）

現在の事故数 21 件（1 年 7 件、2 年 10 件、3 年 4 件／昨年度 22 件）

自転車同士 5 件、自転車ーバイク 4 件、自転車ー自動車 7 件、バイク同士 1 件

バイクー自動車 1 件、バイクで自損 3 件

懲戒件数 昨年度 17 件から今年度 4 件

○進路指導部ー 進路カルテに付属の冊子を長期休暇中の課題として、テスト対策とする。

模擬テストの後に自己採点させることで自分の学力を確認させる。

全学年で、夏期休業中の進学補習を実施した。

3 年生は、1 学期中放課後講習も実施し、2 年生は現在募集中。

進路閲覧室で、放課後学習したり、資料を見たりする生徒が多い。

各学年で進路説明会を実施し、保護者向けにも 2 回実施した。

就職希望者は、Wi-Fi で会社を調べることができた。

○保健部 ー 「生徒保健だより」は、毎月発行。健康維持と、疾病予防のみならず、避難訓練に合わせて、  
防災意識を高める内容にも着手させる。

1 学期末に、教員による安全点検を実施。夏休み中に技術職員の協力を得て、修理を完了。  
するものの、大がかりな補修が増えている。

1 学期、生徒保健委員により清掃・安全点検を実施。

文化祭開催時のゴミ箱の特設とゴミの分別の呼びかけを実施。

○総務企画部ー 携帯連絡網加入率 1 年 84.7%、2 年 76.3%、3 年 66.2%

第 1 回学校説明会(7/20 実施)に 235 名参加(H27:205 名/H26:112 名)

学校説明会用 DVD 作成。説明会の待ち時間に視聴する。

中学校訪問（6月実施、11月実施予定）

体育大会時の給水等の手伝いにPTAが参加。広報用に写真撮影実施。

文化祭では、バザーにPTA多数参加。盛況であった。

進路講演会を3年7月、1・2年10月に実施し、その後学年ごとに学年座談会を実施。

○7期生3年—各進路別の講演や説明会等を契機として希望進路の実現の為、自主学習に取り組んでいる。

遅刻数は9月まで抑制傾向。9月の文化祭以後増えている。

体育大会・文化祭等の行事に3年生として主体的に取り組んだ。

○8期生2年—「エリア活動日」で、おおむね自分の進路への目安を立てられたみたいである。

「交通事故」の増加。校外での「原付」などによる事故が増え、学年集会で注意。

「修学旅行」を控え、各種委員の決定。

女子クラブの低迷化に懸念。

○9期生1年—国・数・英の3教科が夏期講習を実施し、動機付けとしての契機となったように思う。

英語では、学習習慣をつけさせることに力を入れ、辞書・予習のないもの0となっている。

遅刻した生徒は、その日の放課後に反省文を書き、指導を受ける。

身だしなみ指導を独自に実施。

文化祭では、教室でのイベントに取り組み、どのクラスも一致団結して頑張り、盛況だった。

#### ※質問及び意見

・バイク同士の事故は登下校の時か？

→バイク同士の事故は、登下校時以外で発生

・服装指導などに関して、1年と2年との差がありすぎるのでは？

→各学年で重点がある。(3年遅刻、2年ピアス、1年身だしなみ 等)

中学校では全学年統一して行うが

→本来なら統一すべきですが、ピアス、スカート等、移行期間が必要と考える

**1年の生徒で気にしているものもいた。**

・1年の遅刻指導で、反省文を書くのは、各学年によって違うのか？

→3年、1・2回目は何も言っていない。遅刻回数が20回以上になったクラスが3クラスになると学年で漢字の書き取りを行う。

2年、月3回以上で指導、4・5回は天声人語の書き写し（学校としての指導）

・どの指導が一番効果があるのかをみて、効果があるものを全体のものとしては？

→特定の教員に負担がかかることもある

・各学年で発達の度合いも異なるので、違った指導もありうる。ルールを作ると、ルールを守らせることを重視し、ハートを忘れてしまうことにもなりかねない。

・年間遅刻回数が3千回もあるのか？ 自己管理の問題で、社会へ出て行く第1歩として考えるべき。

・1年で遅刻が減っているが、他学年に影響はないのか？

→3年、なし

2年、遅刻者はぎりぎりに来るものと大幅遅刻（家庭連絡を密）の2つに分かれる

・親子関係が希薄になっているような現状で、よく生徒は学校に来れていると感じている。

（直接の会話ではなく、LINEで話す、等）

・SNSは中学校においていくのでは？

→中学生もある。中学生の家へ行き、会話もなくゲームなどを行っているような現状。

・親の社会が変わってきている。頑張っているが収入が減る。こどもとの会話が減る。

こどものスマホ利用が増えるのではないか。

- ・保健所から色覚検査をするように中学校におりてきたが、高校ではどうか？  
中学校では、お知らせ程度で検査をしていない。学校で検査をするのは周りの目があるので。  
→今年の1年から変更し、2・3年は別途アンケートを実施。異常を感じた生徒に検査を実施。
- ・スマホのブルーライトは目に悪いので、目が悪くて免許が取れないような事態が起こるのではないか。
- ・大学では、スマホを持たなければならないので、スマホの貸し出しもしている。  
(授業中に出席や意見をグラフ化するなど)

#### 4. 確かな学力の育成について

##### ◎第1回授業アンケート結果【校長より】

平成27年度は、1回目から2回目でポイントが下がっている。なぜ下がるのか？

12月は授業アンケートのほかに学校教育自己診断や普通科総合選択制アンケートなどがあり  
気持ちが薄れているのか？

平成28年度は、1:授業に対する生徒の取り組み、3:授業に対する生徒の理解で昨年より上がっている  
生徒の声としては、「小テスト返却時の一言が生徒ごとに違っていて、頑張れるようになった」、  
「先生自身が楽しそうに授業している」などがあつた。

##### ◎授業力向上勉強会の立ち上げ【校長より】

9月に第1回目を開催し、アクティブラーニングについて検討、先進校の視察、本校での取り組みなど  
の交流などを行った。

- ・中学校では、各教室にテレビがある。不便な時にはプロジェクターは使いにくかったが、テレビが設置  
されると教員は活用している。

##### ◎授業アンケート結果に基づくセルフチェック【教頭より】

教員にPDCAを考えてもらった。その中でD（具体的な活動）について書き出した。

##### ◎教員相互の授業見学(9月20日～10月28日)【教頭より】

チェックシートを作成し、活用している。

- ・授業チェック等、先生同士の感想に抵抗はないのか？  
→あまり抵抗がない(本校が特別?)
- ・30年ほど前は授業に入るのは抵抗があつたが、今は生徒も抵抗がない。
- ・S47新採時は大量採用のときで、若手同士で見に行つて交流をしていた。

#### ※全体を通しての質問及び意見

- ・ノーチャイムデーどうだったか？  
→生徒はあまり変わっていないが、先生の方が緊張していた。
- ・女子のクラブの低下は？  
→アルバイトが関係しているかもしれないので、今年度から申請と確認を行った。歯止めになるか。  
1年 アルバイトの申請(25人、9%)、2・3年 アルバイトの確認(3年78人)  
クラブが生徒のニーズにあつていないのか？ 興味のあるクラブがないのか？
- ・放課後、生徒のいる学校といない学校の両方を経験した。  
クラブを一生懸命やっていると成績が下がるというのは“ウソ”。
- ・同好会から昇格した男子バレー部が人気がある(20名程)

- ・アルバイトもクラブもしたくない無気力もいるのか？
- ・学年の指導の違いの指摘について、学校が3つあるという形はよくないが、分掌の指導にプラスして学年の指導があっても良いのではないかと考えている。

## 5. 事務連絡

- ・次回日程

第3回 平成29年 2月6日(月) 14時より

以上